

日本医史学会役員氏名(五十音順)

| | | | | | |
|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|
| 理事長 | 大島蘭三郎 | 理事 | 石原 力 | 大滝 紀雄 | 大塚 恭男 |
| 会長 | 原田 康夫(第八十七回) | 大島蘭三郎 | 大島蘭三郎 | 緒方 富雄 | 川喜田愛郎 |
| 常任理事 | 大塚 恭男(理事長代行) | 浦原 宏 | 蔵方 宏昌 | 酒井 シヅ | |
| 酒井 シヅ | 宗田 一 | 酒井 恒 | 杉田 暉道 | 宗田 一 | |
| 会計監事 | 関根 正雄 | 中野 操 | 長門谷洋治 | 富士川英郎 | |
| 理事 | 三輪 卓爾 | 藤野恒三郎 | 古川 明 | 矢数 道明 | |
| | | 谷津 三雄 | 矢部 一郎 | 山形 敞一 | |
| | | 大村 敏郎 | 蔵方 宏昌 | 深瀬 泰且 | |
| | | 矢部 一郎 | | | |
| 評議員 | 青木 一郎 | 青木 允夫 | 赤堀 昭 | | |
| | 安芸 基雄 | 石田 純郎 | 今市 正義 | | |
| | 岩治 勇一 | 岡田 義雄 | 大島 智夫 | | |
| | 大村 敏郎 | 岡田 博 | 岡田 靖雄 | | |
| | 奥村 武 | 片桐 一男 | 加藤 四郎 | | |
| | 加藤 豊明 | 川島 恂二 | 久志本常孝 | | |
| | 榊原悠紀田郎 | 末中 哲夫 | 杉立 義一 | | |
| | 鈴木 宜民 | 関根 正雄 | 瀬戸 俊一 | | |
| | 高木圭二郎 | 高山 坦三 | 田代 逸郎 | | |
| | 立川 昭二 | 田中 助一 | 津田 進三 | | |

筒井 正弘 土屋 重朗 中川 米造
 中沢 修 中西 啓 中山 沃
 西川 濱八 服部 敏良 原田 康夫
 樋口誠太郎 深瀬 泰且 福島 義一
 本間 邦則 丸山 博 松木 明知
 三浦 豊彦 三輪 卓爾 安井 昭三
 守屋 正 矢数 圭堂 安井 昭三
 山下 喜明 山田 重正 山田 光胤
 山中 太木 米田 正治 渡辺左武郎
 (理事の名は省略)

編集後記

昨年は我が国最古の医書である『医心方』
 が著わされてより恰度千年目にあたったの
 で、ゆかりの地である京都において医心方
 千年記念祭が挙行された。京都市泉涌寺観
 音寺境内に建立された医聖堂と並んで、医
 心方千年記念碑が建てられ、併せて記念講
 演会が開催された。本号は、その折の講演
 の特集号として、宗田一、矢数道明、三迫
 初男、馬継興の四氏の講演要旨を載せてい
 る。
 弘前での本学会総会も松木明知会長の大
 変な御努力により成功裡に幕を閉じた。西

ドイツのフライブルク大学教授ザイドラー
 博士と北京の中医研究院医史文献研究所長
 李経緯氏による特別講演は会員一同に深い
 感銘を与え、医史学研究の国際的連繫に道
 を開くものとして意義深いものであった。
 来春は広島市において原田康夫会長のも
 とに総会が開かれることとなった。会員諸
 兄姉とまた広島でおめにかかれることを楽
 しみにしている。
 (大塚恭男)

昭和六十年七月二十五日 印刷
 昭和六十年七月三十日 発行
 日本医史学雑誌
 第三十一巻第三号
 編集者代表 大島 蘭 三 郎
 発行者 日本医史学会
 代表 大島蘭三郎
 〒二三 東京都文京区本郷二二一
 順天堂大学医学部 医史学研究室内
 振替 東京 六一五二五〇番
 印刷所 三報社印刷株式会社
 〒一三 東京都江東区亀戸